

首都大学東京 法科大学院
平成20年度 2年履修課程

商法・民事訴訟法・刑事訴訟法 試験問題
(平成19年12月16日実施)

試験時間 午後3時00分～午後4時30分

受験に当たっての注意事項

- (1) 受験中は、机の右上に、①大学入試センターが実施した平成19年度適性試験受験票又は日弁連法務研究財団が実施した2007年法科大学院統一適性試験受験票及び②本学受験票を置いて下さい。
机上には、上記受験票、筆記用具、時計、眼鏡以外の物を置くことはできません。
- (2) 筆記用具は、黒インクのボールペン又は万年筆に限ります。これ以外の筆記用具を用いた場合は、0点として採点します。消しゴムで消すことのできるインクや2色（あるいは複数色）のボールペン等の使用は禁止します。なお、マーカー、修正液、定規の使用も認めません。
- (3) 携帯電話は身につけず、必ず電源を切って、鞆の中などにしまってください。携帯電話を時計として用いることはできません。
- (4) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- (5) この問題冊子は表紙を含めて2頁あります。問題冊子を破いたり、ホチキス止めをはずしたりしてはいけません。
- (6) 答案用紙の所定欄に、受験番号、氏名を必ず記入して下さい。
なお、所定欄以外の場所に氏名を記載するなど特定人の答案であることが明らかになるような行為は一切禁止します。
- (7) 答案用紙は、各科目1枚（表面のみ）のみ配布しますので、汚損しないよう注意してください。
- (8) 「法科大学院試験六法」は各試験時間終了時に回収しますので、書き込んだり、頁を折り曲げるなどして汚損しないでください。汚損行為は不正行為とみなします。
- (9) 試験室では監督員の指示に従ってください。不正行為があった場合又は監督員の指示に従わなかった場合には、失格となります。
- (10) 試験終了時刻までは、試験室から退出することはできません。
なお、他の受験生の受験の妨げとなる行為が認められた場合には、監督員が、試験時間中であっても試験場からの退出を命ずることがあります。

商法 問題

株式会社（委員会設置会社を除く）が取締役に対しストック・オプションを付与する場合に、どのような手続的規制を受けるのか、会社法上の報酬規制の趣旨を踏まえて、検討しなさい。

民事訴訟法 問題

裁判上の自白と請求の認諾について、対象および効果に注意して説明しなさい。

刑事訴訟法 問題

いわゆる面会接見の意義について説明した上で、検察庁庁舎内において面会接見を実施するに際して当該被疑者の取調べを担当している検察官が立ち会うことが許されるか否かについて、論じなさい。